

あーら

MINI <4号>

1977年4月発行 ¥150 丁60

今月のなかみ

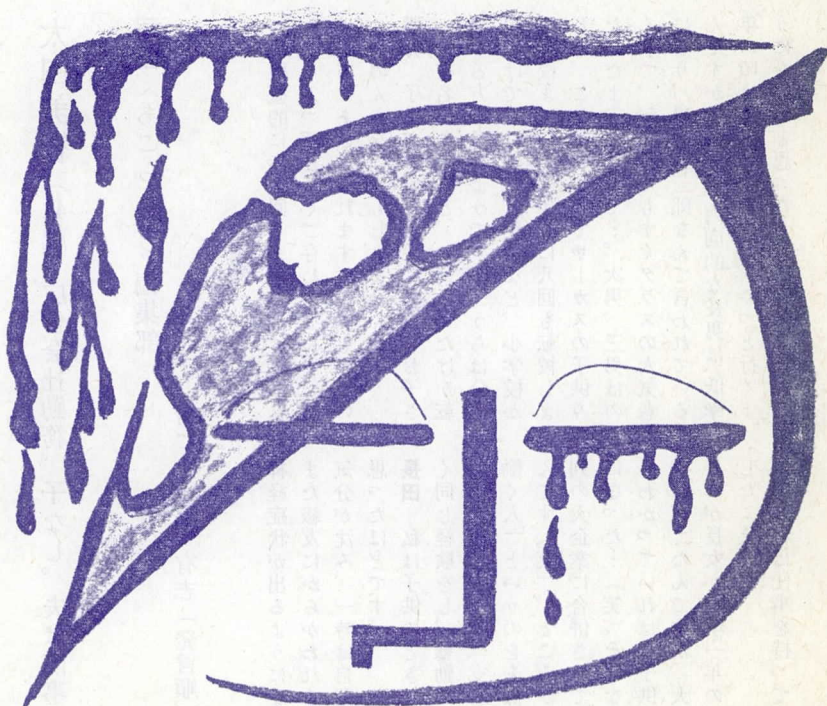
〈詩〉 永瀬清子	1
〈イラスト〉 藤原悦子	1
〈快談・怪談〉 転勤を考える	2
〈あーらメイト〉 高橋ますみさん	4
〈読む〉 福祉・人と心 飛ぶのが怖い	5
〈見る〉 出会いへの道 あるエンカウンター・グループの記録	5
〈伝える〉 初任給格差を關つた結果 高橋悦子	6
〈あーら会員の本〉 福祉・人と心 結婚とは夫とは 女教師だ けをせめないで 動物図鑑 減速経済を生 きる 近衛兵星野彦太郎の日露戦争	6
〈実務シリーズ〉 やさしい編集4 せがわともこ	7
〈女のつどい・女の講座〉 四月十九日・五月二十二日	8
〈お知らせ〉 各地の「あーら」の例会	8

〈あーら〉は会員の拠出した基金と年会費および雑誌〈あーら〉〈あーらミニ〉の売上で運営されており、どの企業、どの政党、どの団体からも1円の援助も受けていません。年会費は婦人問題総合情報誌〈あーら〉(A5 180ページ)とともで4,000。〈あーらミニ〉のみ購売の場合は2,000円(いずれも送料とも)です。会費・誌代は振替でどうぞ。

〈女と男〉のミニ雑誌〈あーらミニ〉 ●何でも言える
●何でも書ける ●小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あーら〉
●あなたの声を待ってます。下欄の編集部へどうぞ。

流れるごとく書けよ

あ、腐葉土のない土に
種まく日本の女詩人よ
自分自身が腐葉土となるしかない女詩人よ
なれよ立派な腐葉土に
あらゆることを詩でおこない
あらゆることを詩でおこない
一呼吸ごとに詩せよ
日記をかくようにたくさんさんの詩をかけよ
時々刻々に書き書けば
成りがたい彫心縷骨の一編よりも
更に山があり谷があり
貴女の姿のまるみのみえる
逆説的の不思議はそこに
普断着のごとく書けよ
まるでみどりの房なす樹々が
秋にたくさん葉をふらすように
とどめなくふつてその根を埋めるように
たくさんさんの可能性がその下にゆっくり眠るように
(永瀬清子)



〈快談・怪談〉

転勤を考える



出席

長田礼子 (35歳) 四児の母。夫は食品会社係長)

村山恭子 (52歳) 三児の母。夫は銀行重役)

高橋弘子 (28歳) 子なし。夫は新聞記者)

浅井英子 (44歳) 三児の母。夫は化学薬品会社課長)

太田美智 (41歳) 広告会社勤務。子なし。夫は商社会社課長)

司会へあごらミニ 編集部

〈あごら東京〉有志(発言順)

♠妻と子どもは転勤エレジー

司会 転勤シーズン。ことしもあちこちで華やかな歓送風景がみられました。転勤はサラリーマンの出世の花道と言われていますが、妻の立場ではどうなんでしょうね。

長田 正直いつでもうごりごりですね。今度は名古屋から東京で比較的近かったけど、子供四人で荷物は二百四十六個。荷造りは専門業者がしてくれましたけど、ほどこだけでも大変ですね。

村山 うちでは子供の学校の関係で、この十年間は家族は動かないのですが、夫が気の毒ですね。三年間札幌(札幌)

チョンガー)それから名チョン四年、大チョンが三年目で……。はじめは羽を伸ばせていい、なんて喜んでいましたが、しだいに生活が荒廃してくるのは、行っているのを感じます。

高橋 私は転勤が楽しみで楽しみで。夫の勤め先が新聞社なので一二年おきに支局めぐります。そのたびに新しい土地のことを知り無料で観光旅行しているようなもの(笑)。その土地に住みついていけると、いつか行けると思っていて、名所めぐりなどなかなかないものですが、私たちはその土地に長くはいないと思う

ので積極的に歩き回りますでしよう。「私よりよっぽどよくご存じ」なんて、土地の方にあきれられます。子供もいないのでのんきなかもしれません。

浅井 子供がいると大変ですよ。お子さんが有名校に入ると、お父さんだけが転勤する方も多いようですが、うちは公立校だけでしたので、長男など、小学校から高校まで、十二年間に八回も転校しました。これじゃまるでサーカスの子供みたいだよ(笑)なんて。次男、三男はのんきで、転校してもすぐクラスの人気者になり、風の又三郎なんて言われているんですが、神経質で内向的な長男は、低学年の頃は泣いて登校拒否。やっと行くようになったと思ったら、チック症という

神経症状が出るようになって……。それをまた級友にからかわれるので、ますます気分が沈み、一時は自閉症になったかと思っただけです。

長田 私は子供のとき、そのご長男と全く同じ経験をし、転勤だけはすまいと思っただけです。支店のない小企業に働く人というのを夫探しの条件にしたんです(笑)。ところがその小企業が系列の大企業に合併されて、支店が百幾つになった(笑)。そうなることが早くからわかっていれば、子供を幼児期からタフに育てたんですが、大企業に吸収されたのが長女が小学一年のとき、手遅れでした(笑)。

太田 私は仕事を持っていて、この仕事

を絶対にやめたくなかった。それで、夫が大阪に転勤したとき、私も自分の社の大阪支店に転勤願いを出したのですが認めてもらえず、やむなく別居しました。まだ新幹線がないころですから、そんなに簡単にデパートもできず、彼が月に二回、出張で上京する時に会う程度とい

♣ 転勤で「仕事人間」になってしまった夫

司会 と、いろんなケースが出たわけですが、一番お困りになったこと、問題点を一言ずつ。

長田 とにかくくたびれますね。荷物など捨ててしまおうと思うのですが、夫が何でもだいいじにしてとっておくほうなもので……。でも内緒でずいぶん捨てたものもあります(笑)。

「おい、あれはどこへ行った」と言われると、あわてて探すフリをして、「アラまたどこかへしまいこんでわからなくなっちゃった。だから転勤ついでいやねエ」って(笑)。

村山 私は、はつきり言って、夫との関係が冷え冷えとしたものになってきたのを感じます。夫婦というのは、口に出せないドロドロした部分でつながってるものでしょう。それが、しだいにスッパリしてきたのです。月に一二度の逢うのは新鮮でいいだろうとか、「ご主人がいなくてのんきでいいですね」なんて、うらやましがられますが、新鮮でいいと思っただのはせいぜい一二年で、夫が荒廃しましたのと同じように、私自身も荒廃してき

司会 荒廃って、どんな意味ですか？

うことになってしまいました。そのときは三年で東京に戻ってきたのですが、その後海外出張もあり、この期間には双方恋人がでちゃった。一時は真剣に離婚を考えたとです。専業主婦の方はいざ知らず、職業を持ってる場合は、実は大問題です。

村山 人間的にガサガサしてきたのです

ね。何かうるおいがなくなっている……。愛する人と夕方になれば逢う。そのためにお互いに働くということがあるでしょう。おいしい料理をつくったり、ちよつとイ

ンテリアを考えたり、そんな楽しみが半減してしまつたのです。私は子供よりも夫を愛してましたから……。夫のほうも無味乾燥な暮らし。寮に帰つてもつまらないので、残業して仕事、仕事、と、全くの仕事人間になってしまい、共通の話題がだんだんなくなつてしまつたのです。むかし彼を一〇〇愛していたとしたら、今は二〇くらいしか愛していない。とい

うことは、向こうも多分そうでしょう。浅井 そうなると、家中そろつての引越して大変、というほうがまだましだったか……。(笑)。

司会 そんな状況で、なぜ同居なさらないんですか？

村山 子供がたまたまエスカレーターコースの学校に入つてしまつたので、動きがとれなくなつた、ということが一つあつたわけですが、自分がそれほど荒廃していくのに気がつかなかつたということがありますね。気がついたときは、がく

ぜんとするほど荒廃していた(笑)。

太田 その気持、とてもよくわかるな。私が恋人をつくつてしまつたときが、ちよつとそんな荒廃期。ふつと心に隙間があつて、誘つた男はつまらない男だつたのに、ひどくやさしく思えてしまつて、つい……。

高橋 でも、つまらない男だつたのでよかつたわけですね(笑)。離婚まではなさ

◆ 何十万も支払つてなぜ転勤させるのか

司会 村山さんや太田さん、浅井さんのお話などがうと、なぜ、そんなにしまでサラリーマンに転勤は必要なのか、と疑問に思わずにはいられないのですが、企業としても一人の転勤に何十万も支出するわけでしょう。

高橋 村山さんのお話の一つヒントがありましたよね。夫が仕事人間になつたと。それこそ企業のねらいではないですか。

太田 若いうちにいろいろな土地に行きいろいろな仕事を経験し、知識の幅を広くするというのは、いちがいに悪いこととは言えないと思うのですが、少なくとも希望する人だけではない。希望するかどうかを企業は当人に聞くべきだし、当人も当然家族の意見を聞くべきでしょう。

長田 しかし今の日本の社会では、そんなことをすると完全に出世コースからはずされてしまいますね。知人で、ある大企業のサンフランシスコ支店長をしてた人がニューヨーク支店長を命じられた

貴重な経験だつたように思います。ほかの男を知つたことによつて、夫に対する気持が前よりもひらけてきた。夫の側でも同じことがあつたようです。私たちは長い間、恋愛の延長のような甘い関係だつたのですが、この事件を契機にして、一つ大人になりました。

長田 しかしそれはお二人とも賢明だったからでしょう。そのまま悲劇になることもあるのでは。

浅井 江戸時代の参勤交代の意味もあるような気がするの。つれあい組合の活動家だつたので、集中的にねらわれたような気がするんです。活動が根づこうとするころになると飛ばされる。転勤するたびにどうしてもエネルギーをそがれてしまふでしょう。やつとエネルギーがたくわえられたころになると、また転勤です。

太田 私は離婚話にまでなつて夫と真剣に話し合つた。ことの起りは企業ではないかと。個性もあり、いのちもある人間を将棋の駒のように企業が勝手に配転してよいものだろうか。夫は海外に行つて目が覚めたというか、日本の企業の非人間性に気がついたのです。外国では

3

別居するときは離婚するときなんだそうとか。だからそんなに簡単に転勤もさせですね。アメリカなど、夫婦生活が合わない転勤のときはもちろん家族同伴で月ないときははりっぱな離婚の理由になるす。

♥ バンザイで送られる非バンザイ族

村山 転勤は夫の出世というので、日本 います。の妻はがまんしますね。若い人などを、なぜあんなに軽々と考えたのだろう海外に行くのでも単身赴任ということが、と、今になって後悔せずにはいられませ多いでしょう。実に人権無視の話だと思



あだなは「シツチャカメツチャカ」なにして「上品で教養があつて、しかもリブ。この世に存在不可能」なへあごら東海」の呼びかけ人なのである。だからやることなすこと天衣無縫だ。が、不思議に角がたたず人を納得させる。

へあごら」創刊号の「……小さな点が線となり面となつて働く女性のしあわせにひびいてくる日を……」ということばにひかれて入会した、という純情派。

名古屋テレビ若年停年制反対の一〇年闘争では裏方としてかかわつてきた。といつて闘士ふうなところはミジンもない。一見良家の奥様ふう。美人でソツがあつて、そのソツのあるところがエモいわけぬ魅力になつてゐる。エモア感覚満点。人をそらせず涙もろく、しかもシンはステイルのよう。幼時、父上と死別。母上は高校教師から新聞記者に転向。カギツ子できたえられて育つたからであらう。

結婚一〇年に、主婦の「結婚休暇」をとつてロンドンに一月留学するという実行派。茶の間を解放して塾を開くとたちまちに子どもであふれ、今や分塾が必要なほど。〈科内〉の英語より〈科外〉の女性解放講座が大うけとか。

南山大学院で老人問題を勉強中。

——あごらメイト——
〈あごら東海〉呼びかけ人
高橋ますみさん

ん。とても強い夫婦の結びつきがあつたものですから、三年や四年離れていても気ががさめることはないと思う信じていたのです。でも、飛行機の金属疲労みたいなものが次第にたまってきてしまつて……

司会 「夫の転勤に反対する妻の会」といふのが何年前にできましたね。その後の活動はよくわからないのですが、たしか共働きの人々を中心にした会でした。共働きの場合、ほとんど、即、妻の失職になるわけですから問題は深刻なわけですが、共働きでなくとも、企業が個人をそこまで支配していいものか、非常に重要な問題だという気がしますが。

長田 うちでは引越しのたびに実母が手伝いに来てくれるのですが、駅頭での、「何々君バンザイ」を聞くと、すごいやな気がするというんですね。父が出征したときのことを思い出すと、お国のためといつて、一銭五厘のハガキで召集された。みんながそれをバンザイと言つて送つた。今はお国の代わりに企業があれだけじゃないの、つて。

太田 それと、転勤するときに失職するのはほとんど例外なく妻の側だということですね。中高年の妻が失職すると、地方では再就職はほとんどむずかしいといふことも、ほんとうに大きな問題だと思ひます。

司会 「へあごら」の地方の核、へあごら東海」は、実は一人の転勤族の妻の呼びかけから始まつたのです。夫の転勤で名古屋に来て、今までの友人関係が失われ合ひたいと。しかしこのような訴えが妻の側からな

されているということは、考えてみると日本の社会の一つの特徴のような気がしますね。夫の側は転勤しても、行く先々に企業という運命共同体のネットワークがある。そのネットワークに組み込まれた家族だということ。ルーツを探ると企業があるわけでしょう。

高橋 日本のタテ社会の構造的な面を端的にあらわしている。こういう大きな問題が、なぜ男の側から問題提起されないのか。春闘の要求でも聞いたことが無い(笑)。

司会 ウーマンリブという、男に対する攻撃という世間の誤解があるわけですが、私たちの運動は、日常生活の一つ一つを、女の視点から人間回復の立場で見えていくことです。今日は時間切れで問題提起だけに終わつてしまいました。が、今後とも一つ一つの現象を洗い直してみつめ直していきませんか。

また、転勤族の妻の再就職の問題について、へあごら」の運動の核の一つであるBOC(創造力の銀行)の再組織化の問題もからんでいます。今までの職場をやむなく離れたとしても、各地のBOCが新しい職場になり得ないものか。今度発足したへあごら九州」からも、さつそく要求が出ていますが、率直に言つて東京では、雑誌へあごら」とへあごらミ」の発行で精いっぱいです。地方の方がたの積極的な活動を、誌上を借りて呼びかけたいと思います。こうしたことが成功すれば、夫の転勤に異存はないといふわけではもちろんありませんが。



読む

綾田曜子著

福祉・人・心

「人・心」の題が気に入った。同じ福祉でも今までの種類とは少し違うかな。これが、この本と私の出会いである。

筆者の民生局長在職三年十か月間の経験であり、所感である。

第一章、福祉と行政・局の組織図・予算図をも著わし、そこに働く人間の姿を書いている。福祉行政が幅広く奥深いのに驚く。

第二章、福祉とコミュニティケア老人、障害者、児童、施設、個々々の現状と問題点が分り易い。コミュニティケアの重要性を再々認識してしまった。各々区市町村自治体で盛んにコミュニティケア問題に取り組んでいるのを知っているが「人・心」として行政側の両方が同時進行しつつあるのでは、と私は希望しているのだが、とても難しい事だ。

第三章、福祉の担い手―都立婦人会館建設計画の必要性に私は多少の疑問を持っていた。しかし、正確な建設意図を知り納得。大いに賛成である。何年か前からボランティアという言葉に接する機会が多い。「ボランティア」主として時間的に余裕のある婦人が中心」の感が強い。自分

の自主的な意志で、我々の住む社会をより良くするために、それぞれの能力に応じて働きかけるのが本来のボランティアなら、婦人中心ではなく、社会全体の問題として解決していかなくてはいけない。

私もボランティアに参加しているつもり。だって、あきら、とも他の市民運動とも、特別な変化がない限り縁を切る事が出来ないからだ。

第四章、福祉と婦人―「役所は天国」、とんでもない。プロの職業人であろうとするにはどこも同じ。他の社会と同様、婦人にとつてかなり厳しい職場のようだ。一番興味を持っていたが、私の興味と少しズレがあり、少々ガッカリ。

第五章、福祉の心―弱者、チャリティ等の言葉の問題、福祉見直し論、パラマキ福祉等、著者の考え方にはうなずく事ばかりである。

まえ書きに「喜びも苦しみも共に分かちあつた東京都民生局職員に贈りたい」と書いてある通り、職員に近い立場で書いてあるのが気にかかるが、福祉を身近な問題として考える機会を与えてくれる本である。ぜひ読んでほしい。(日本放送出版協会 七〇〇円) (肇)

「エリカ・ジョング／柳瀬尚紀訳」

飛ぶのが怖い
エリカ・ジョングは一九四二年生まれのアメリカの詩人である。すでに発表された詩集として「果物と野菜」「半分の生」「愛の根」などがあるが、これらの詩は女と男の世界を

卒直にうたっている、彼女がウーマンリブの女たちに人気がある理由がよくわかる。エリカが初めて書いたと思われるこの小説は、ウーマンリブでなくても、ほとんどの女性が読んで共感する小説になっている。世間からは理想的だと思われる精神分析医の夫をもちながら「明日のことは語らない」という実存主義を実践しようという新しい男に出会い、夫を愛しているけれど、新しい恋にも夢中になる。この辺の描写は痛快だ。

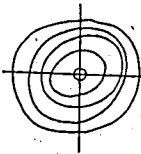
一日のうちに二人の男とベッドを共にする感情が、楽しく描かれている。この小説はエリカの自伝的小説だといわれているが、愛人の男がいざというとき、しばしばインポであるという設定などまさに真実味があつておもしろい。

シエクスピアを専攻した文学少女らしく、古今東西の文学作品と作家名が随所に出てくるので、この小説を読みにくくするのだが、サルトルとボーボワールの結婚を理想とする描写が三回以上くり返されるので苦笑してしまう。わたしは日本

の女も「ボーボワールとサルトルのような生活がしたいわ」と一年に数回はしゃべりながら生きているので、あのフランスのつぼのおばさんとチビのおじさんが与えた影響は大したものだと感じると同時に、もうい

いかげんに新しい時代のアイドルが生まれてくれないと困るという気もある。たとえば「ヨニコとレノンのように暮らしたいわ」というふうに

見る



映画「出会いへの道」

あるエンカウター・グループの記録

三月二十八日、東京大手町で日本精神技術研究所主催の表題のような記録映画が上映された。六八年のアカデミー賞(芸術・科学部門)を受け、エンカウター・グループの記録映画としても名の通ったものらしい。日本版吹替え。アメリカで著名な心理学者・心理療法家、カウンセラーであるカール・ロジャースが友人の心理学者と組んでグループの推進役を勤め、いずれも初対面の男女各四人が加わり合計十人が登場人物。エンカウターとは「出会い」であるが、これは「自分との」また「他人との出会い」を含むものである。現代社会では多くの人々が、いつのまにか自分でも気づかない仮面(マ

スク)や防衛的態度を身につけて、内面にある真実の自己をおおい隠してくらしている。そのような個人と個人(夫や妻、親子などまでも)が接触するのだから人間関係の歪みは増幅され、果ては真実の自己なるものさえ見失って行く。

映画では四人の人びとに焦点が当てられる。夫への愛が求められず猫に愛を向けるベス。可憐さという仮面をつけたローズ。差別に根深く感情と行動を規制されている黒人のカリー

リン。職場ではやり手と通り、家族や友人を特に必要としないなどというジェリー。この人たちはロジャースの企図に賛成して集まったのであるが、反感や無関心、傷つけ合いなどから出発して、ハンケチがたくさん必要となる感激の場面まで、劇的な経験をしていく。自分自身の心の真実を表現し、お互いのあるがままを受容しあえたのである。あ

ごろて、河野貴代美さんが指導したコンシャスネス・レイジングスとか、最近、深沢道子さんが朝日新聞に連載した「自己主張のすすめ」なども同様の趣旨でなされていると思う。心理療法の分野をこえて、教育、結婚

職場や地域の組織、またリブなどの運動体にも応用できる。十六時間の記録をわずか四七分に縮めた無理と、抱き合つて感激を表現するアメリカ人との文化差など、問題はあるけれど、一見には値する。フィルム買取、レンタルは精神技術研究所(〇三

三八一三二三八)へ。

5

福祉・

人と心

縫田暉子 著

日本放送出版協会刊 七〇〇円

著者の四年に近い東京都民生局長在職経験を通して、心のない福祉行政のあり方にせまる。福祉が身近になる本。

結婚とは

夫とは

俵 萌子 著

学習研究社刊 七三〇円

十六年間の自分の結婚をふりかえり、同時に、多くの仲間との出会いや、彼らの相談に基づいた真情あふれるかつユーモアに満ちたエッセイ集。

女教師だけを

せめないで

駒野陽子 著

読売新聞社出版局刊 八〇〇円

現場の女教師として、鋭い、しかし暖かい視点で、女の問題、教育の問題を考え続ける問題提起。

伝える！

自己宣伝も大歓迎
1コマ1000円デース！

おカネ出しても伝えたいことある？
言いたいことある？

「初任級格差と闘った」結果

高橋悦子

いろいろとご支援やご理解を頂きありがとうございました。

三月に社内決定があり、私は上司に呼ばれて一枚の紙きれを渡されました。「職務内容を検討の結果、あなたをⅢ級に格付けします」という一文。上司は、つとめて無表情に「おめでどう。昇格です。みんながあなたを注目しています。頑張ってください」と。私は社内ですべて女性Ⅲ級となり、男並みの働らきが期待されることになりました。船は、よろこばれつつ（と私は思いたい）進水しました。

ところが、会社の労働協約で、男性の残業は月に四〇時間まで認められており、女性には、三四時間です。つまり一月に二・五時間の残業制約（？）があります。男性の残業は組合との協定書をと리카わすことを条件に、月八〇時間は認められています。たしかに、それぐらいの残業をしなければこなせない仕事量があるのです。それなのに、女性であるがために労働協約にしばられて午後八時をすぎると、組合からは、早く帰るようにいわれ上司からは、「君はⅢ級なんだ」と仕事を催促されます。結果、私は、自宅に仕事を持ちこんで、なんとかこなし、毎晩、フロにも行かれないありません。

ナンセンス！私が働きたいのはこんな状況の下ではありません。もつとのびのびと、自分の力が発揮できるような状況はどうしたら作れるのでしょうか。今は、それが資本主義社会の矛盾だよ、いわれても、どうしようもない。何か得体的にしないものにがんじがらめにされていくような気持ちです。

動物図鑑

水野るり子 著

地球社刊 一二〇〇円

画集のようなこった装丁。動物と人間が共存したような不思議な世界。H氏賞をもらいうという野心作。

減速経済

を生きる

下村満子 著

朝日新聞社刊 七二〇円

週刊朝日きつての実力派記者として財界人トップに独占インタビュー。日本企業のへ奥の院に迫った話題の書。

近衛兵 星野彦太郎の
日露戦争

追貝 左文郎 著

BOC出版部刊 七五〇円

七〇余年の秘めた資料を基に、一兵卒の立場から日露戦争の内情を追求した異色の記録文学。

やさしい編集4へあきら実務シリーズ

印刷の三つの種類

前号、前々号で、活字の大きさをザッと説明しましたが、そもそも「活字」とは何でしょう。「活版印刷に使われる字」が、「活字」の語源です。

では、「活版印刷」とは何でしょうか。

印刷には大きく分けて「凸版」「平版」「凹版」の三つの方式があります。

「凸版」とは版面の文字や模様が突起しているものです。簡単な例で考えると、日常使う印章があります。たとえば伊藤とい

う印は、増補という形に文字が浮き出ているので、朱肉をつけて押すと伊藤という字が写りますね。同じ理屈で突起している部分が印刷されるのが「凸版」で（図を参照）その代表的なのが「活版」です。

「凹版」は、凸版の逆に文字や模様の部分が凹んでいます。代表は「ヘグラビア」で、写真を応用して文字や模様の部分を化学的に腐食させ、凹んだ部分にインクをつけ、平らな部分のインクをかきとったのちに版面に圧力を加えて印刷します。

「平版」の代表は「オフセット」です。これは版面にほとんど凹凸がありません。

化学的な処理によって、文字や模様の部分にだけインクがつくようになっていきます。

版式に応じて文字もちがう

三つの版式には、それぞれ特徴があります。

「凸版」は、シャープで力強い印刷ができます。特に文字はハッキリ出て読みやすいので、書籍や雑誌に広く使われています。

「凹版」は写真の濃淡が非常にきれいに出来ますから、雑誌のカメラルポのページや写真集、カタログ、ポスター、絵はがきなどに使われます。ただし、大量印刷でないとコスト高になります。

「平版」は、版を殖やすのも印刷も簡単

人を見受けませんが、オフセットとか活版というのは印刷の方法で、活字とか写植というのは文字組みの方法です。

ふつう、活字で文字を組んだ場合は活版印刷、写植を使った場合はオフセット印刷やグラビア印刷にしがちですが、必ず因果関係があるわけではありません。活字で文字組みしたのち、それをフィルムに撮ってオフセット印刷する場合もありますし、写植で打った版下を凸版にして活版印刷する場合もあるのです。

目的によって選ぶ

どのような版式を使うかは、印刷物の目的、部数などによって決まります。

小説の単行本のように文字が主体のものは伝統的な活字を使った活版印刷が多いのですが、図版や写真をたくさん使ったカタログやチラシ、美術書などは、オフセット印刷、グラビア印刷などがよく使われます。また、どのような文字を使うかは、印刷の版式、文字に対する好み、文字組みの費用などを考慮して決められます。

くつきりと鮮明な文字が力強く出る「活字」は、小説のように文字を主体とした印刷物にびびたりです。「写植」は、変わった字体を使って、しやれた紙面を構成できるので、宣伝物などに向いています。しかし、誤植の訂正は活字よりめんどうですし、

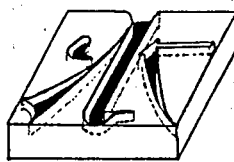
一字当たりの値段も活字より高いうえ、活字のように、組めばそのまま印刷できるわけではなし、版下をつくり、それをフィルムに撮る（または凸版をつくる）などの作業をしなければ印刷できないという不便さ

があります。どのような版式、どのような文字を使うかは、初歩のうちは印刷屋さんにご相談するのが、いちばん便利でしょう。しかし、ひと口に印刷屋さんと言っても、いろいろな版式をそろえているところは比較的少なく、オフセット専門だったり、活版専門のところ、あるいは軽印刷（次号で説明）のところもありますから、はじめに版式は何か、聞いておくことです。

（せがわ・ともこ）



平版



凹版



凸版

〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
4月19日(火)	18:30～21:00	例会・国内行動計画の基本的な考え方	講師－久保田真苗 〈有職婦人クラブ〉	NHK 青山荘	03-400-3111
	18:30～	諸外国の女講座・アメリカの新しい女流詩人たち——渥美育子	〈行動を起こす女たちの会・国際分科会〉	ホーキ星	03-341-9364
20日(水)	18:30～	〈女大学〉アジアとの出会い方——鶴見良行	〈アジアの女たちの会〉	渋谷勤労福祉会館	03-508-7070
23日(土)	13:00～	非行と教育—少年法改悪とのかかわり	〈刑法改悪に反対する婦人会議〉	千駄ヶ谷区民会館	03-402-7854
	14:00～17:00	労働者の生活状況と労働運動について——土佐亮子	〈婦人問題懇話会〉	渋谷勤労福祉会館	
	13:30～16:30	第一回総会	〈家庭科の男女共修をすすめる会〉	婦選会館	03-370-0238
	19:00～	女の詩	〈ホーキ星〉	ホーキ星	
24日(日)	14:00～	離婚分科会例会	〈行動を起こす女たちの会〉	あごら読書室	03-354-9014
25日(月)	18:00～	既刊『あごらミニ』合評会	〈あごら東京〉	あごら読書室	
26日(火)	13:30～15:30	結婚についてみつめ直す	〈あごら東海〉	名古屋勤労婦人センター	
	18:30～	活元大会	〈からだのひろば〉	神宮前区民会館	
	20:00～	私のはなし——今、考えていること悩んでいること	〈女裸衣〉	ホビット村3F	03-332-1187
28日(木)	18:00～21:00	読書会＝金費汀・方鮮姪共著『風の慟哭』——在日朝鮮人女工の生活と歴史	〈婦人問題懇話会・女性史分科分〉	文化服装学院出版局3F	
30日(土)	15:00～	結婚改姓に反対する会・例会		岩井法律事務所5F	
5月1日(日)	18:30～	魔女コンサートをつくろう	〈ホーキ星〉	ホーキ星	
4日(水)	18:00～20:00	働く女性の相談室(毎週水曜日)	〈行動を起こす女たちの会〉	電話で予約を。	中島法律事務所 03-352-7010
6日(金)	19:00～	女のからだのおしゃべり会	〈ホーキ星〉	ホーキ星2F	
7日(土)	18:00～22:00	「女・エロス8」合評会		ホーキ星2F	
8日(日)	14:00～	私とあごら	〈あごら九州〉	福田宅	092-751-5002
	19:00～	中野ハリの会		増野宅	03-385-2293
11日(水)	13:30～15:30	子どもといっしょにからだを動かそう!	〈あんふあんて〉	神宮前区民会館	
15日(日)	13:00～	子どもの健康な育ち方と幼児教育の環境——福地いつち	〈フリースクール〉	ホビット村3F	
	18:30～	例会	〈あごら北海道〉	札幌クリスチャンセンター	
16日(月)	19:00～	月曜講座・黄金の耳へ	すわいよう 200円	ホビット村3F	
18日(水)	18:30～	〈女大学〉経済侵略と女性——北沢洋子	〈アジアの女たちの会〉	渋谷勤労福祉会館	
20日(金)	19:00～	女のからだのおしゃべり会・妊娠・出産編——山田美津子		ホーキ星	
21日(土)	13:00～17:00	女の駆けこみ寺はどうあるべきか	〈行動を起こす女たちの会〉	未定	
	18:00～	万葉講座	〈婦人民主クラブ〉	千駄ヶ谷区民会館	
22日(日)	13:00～17:00	籍の問題について考えよう	〈交流編集会議〉	中野文化センター和室	03-383-1631

(この欄に掲載ご希望の方はハガキでお申し込み下さい。掲載料無料——〒160 東京都新宿区新宿1-9-6 〈あごらミニ〉編集部)

各地の〈あごら〉例会案内

□ あごら北海道

・テーマ未定

例会は毎月15日 参加費二百円

・4月15日(金) 午後6時30分～8時30分

・北海道クリスチャンセンター

▽問い合わせ ☎ 92262244 山口里子

□ あごら東京

・「あごらミニ」合評会

・読んで感じたら、それを発表することが行動の第一歩。

・白いテーブルを囲んで、感想・批評をぜひ!

・4月25日(月) 午後6時より

・あごら読書室

▽問い合わせ ☎ 0333549014 あごら事務局

□ あごら東海

・結婚についてみつめ直す

・これまでの天野さん、沢田さんの講演を基に、自分たちの結婚観について語り合います。

・4月26日(火) 午後1時30分より

・名古屋勤労婦人センター

▽問い合わせ ☎ 052620839 高橋ますみ

□ あごら九州

・私とあごら

・あごらに関することや、日頃の思いを語り合います。

・5月8日(日) 午後2時より

・福田宅 福岡市中央区大濠2の1の1 パールシャト

ウ三〇一

▽問い合わせ ☎ 0927755002

△編集後記

八ページの感じはいいか? 連日の終電車帰宅をみかねて、去年コンシャスネス・レイジングに集まった人たちが「ヘミニ」の編集参加を申しでてくれました。表紙のイラストを書いてくれたエッチャー、大宮からかよってくるヨシエさん。連日残業のあいまをぬって時間をさいくれるオタマさん、プロ編集者のカズヨさん、CR部隊に幸あれ!

これからしばらく八ページでやってみようと思います。販売拡張にどうぞご参加をお願いします。